

佳作 内藤 照子 様 町田市旭町

お母さんへ

1月16日。私の誕生日です。58年も過ぎた今でも、母は必ず「おめでとう」と電話をしてくれます。そして、「あなたを産んだ時間になると、お腹がしくしく痛み出す」と。そう言われても私には、成すすべもなく困ってしまうのですが、その時の母の置かれた状況を考えると、納得出来るのです。なぜなら、厳寒の地、旧満州、誰一人身寄りのない土地、戦後の暴動が起き病院は固く閉ざされ、陣痛が起こった朝から七軒もの病院を歩き廻り、やっと入院出来る病院にたどり着いたのが夕方、でもすぐに入院出来るのではなく、ふとんと食料を持参出来るのならばと条件付き。自宅に戻り御飯を炊き、馬車を頼み病院へ、冷えきった身体で、すぐに産まれず大変な出産だったそうです。何度聞いても私には想像を絶する、考えても考えられない事ばかりです。そして引揚げ、聞きしに勝る大変な状況の中、産んでくれた事、育ててくれた事、ただただ感謝するのみ。本当にありがとう。